

# 麻生田小だより

NO. 7 令和元年 8月27日 文責 校長 木下浩文

## 【学校教育目標】

人間尊重の精神を基盤にし、「礼・学・体」の調和のとれた子どもを育成する

【校訓】美しく(礼) かしこく(学) 強く(体)

## 2学期始業式

夏休み中、子どもたちに大きな事件・事故がなかったことに安堵しています。

いよいよ2学期がスタートしました。2学期は期間が一番長く、じっくりと授業に取り組み、学力の向上を図る期間です。また、見学旅行や修学旅行、学習発表会など一人一人が活躍できる行事が充実した期間でもあります。

始業式では校長講話に続き、偶数学年の代表児童5人が2学期の目標や抱負を発表しました。どの子も勉強や生活について具体的な目標を発表しました。4年1組の上原隼さんは「誰かが困った時、寂しい時、泣いている時は、相手の気持ちを考えて思いやりのある行動をとっていきなさい。」と発表しました。森智先生から9月生活目標「笑顔であいさつしよう」について話があり、最後に校歌を全員で歌いました。始業式後は、早速大掃除で教室をきれいにし、各教室で課題の提出や2学期の目標決めが行われました。

2学期も、「わかる授業」と「仲間と楽しい活動」を通して、子どもが「毎日来たくなる魅力ある学校」を目指します。保護者・地域の皆様のご支援とご協力をお願いします。



## スローガンは「一つ上」

2学期のスローガンを「一つ上」とします。階段を想像してください。1学期までの自分が階段のどこかにいます。2学期はそこから一つ上上がりましょう。勉強でも係活動でも友達との接し方でも、一つ上に上がりましょう。麻生田小の子どもは、力はあるのに十分発揮していない面があります。2学期は力を発揮するチャンスとなる学年行事や学校行事が多くあります。周りに遠慮なく力を発揮しましょう。「あいさつ、そうじ、だれとでも仲良く」の「あそび運動」も一つ上に上がりましょう。一つ上に上がるということは一段成長することです。みんなが一段成長すれば、麻生田小も一段成長することができます。

## 「やれば、できる」



夏休みに、映画「ビリギャル」の原作で『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』の著者、坪田信貴さんの講演会がありました。

どうすれば子どものやる気を引き出すことができるかが話の中心でしたが、印象的だったのが「やれば、のびる」という言葉です。「やればできるとよく言いますが、やったからって誰もが必ずできるとは限りません。しかし、やればのびるということは間違いありません」と坪田さんの話。例えば目標が達成できなくても、夢が実現しなくても、努力した分間違えなく自分の成長につながります。要は、やるかやらないか、どうしたらやる気になるかということでしょう。2学期は、子ども達のやる気を大いに引き出したいと思っています。



## 「斉あいさつ運動」

8月26日始業式の朝、斉あいさつ運動が行われ、地域、保護者、教育委員会から多くの皆様の参加をいただきました。久しぶりに登校してくる児童一人一人に「おはよう」と温かく声掛けをしていただきました。大きな声で「おはようございます」とあいさつする子ども、照れくさいのかやや小さな声であいさつする子どももいました。相手が気持ちよくなるあいさつを目指して2学期も「あそび運動」に取り組みます。ご協力ありがとうございました。

## 9月の学校行事

- 1日(日) 市Pバレー大会
- 4日(水) 4年PTA活動
- 7日(土) 親子愛校作業
- 10日(火) 給食費集金
- 11日(水) 給食費集金
- 13日(金) 安全点検
- 18日(水) 校区パトロール
- 20日(金) 3年総合交流会
- 26日(木) 4年見学旅行

